

# 感染急拡大を起こしたオミクロン

## 油断せず 恐れすぎず 最善の感染対策を！

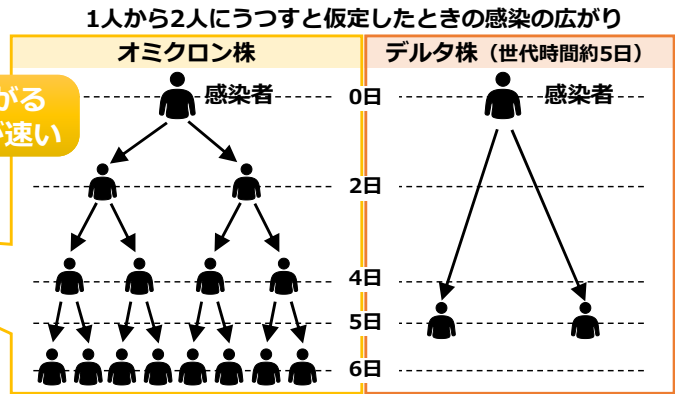
R4.2.10作成

### 潜伏期間・世代時間

- 潜伏期間は約3日
- 世代時間は約2日

(ある患者が感染してから  
2次感染を起こすまでの間隔)

感染が広がる  
スピードが速い



### 症状の特徴

これまで	発熱、咳、息苦しさ、倦怠感、味覚・嗅覚異常など
オミクロン	発熱、咳、倦怠感、のどの痛み、鼻水・鼻づまりなど

➡ いわゆる「かぜ症状」の頻度が高い

### ワクチン3回目接種の効果

イギリス保健当局のデータによると 3回目接種でワクチンの効果は高まる

	2回目接種後の効果	3回目接種後の効果
発症予防効果	接種後20週後 約10%	接種後2-4週間後 65-75%
入院予防効果	接種後25週以降 44%	接種後2週間以降 89%

### 重症化リスク

- 感染の流行が若者から高齢者にも広がり、**高齢者を中心に入院患者数が増加**
- 第6波の全国の1日当たりの死者数は、**第5波のピーク (89人・9/8) を超えている**

#### 軽症だから大丈夫？

- 肺炎所見を認めない場合、**[軽症]** とされます。
- 高熱や咳のみの場合では、**[軽症]** とされますが、本人にとっては辛い場合も。

いまは無症状であっても「既に感染しているかもしれない」という意識を持って、感染対策を続けましょう！

#### 個人ができる対策はこれまでと同様

- 性能が良いマスクを正しく着用、寒くても換気、距離の確保、短時間、飲食は少人数で大声をださない、などを徹底！
- 少しでも具合が悪いときは、**外出を控えて、受診・検査を！**

# 不織布マスク +

**距離**

**時間**

**換気**



スーパーコンピュータ「富岳」によるオミクロン株の場面別感染リスクのシミュレーション結果より「室内環境におけるウイルス飛沫感染の予測とその対策（坪倉誠教授（理研/神戸大）」を基に松戸市作成

オミクロン株の感染力を  
デルタ株の **1.5倍** と想定

## 50センチ以内に近づくと感染リスクが高まる

※隣同士で話すようなシーン

状 況		感染確率（平均）	
		感染者マスクなし	感染者マスクあり
感染者と 15分間 対面会話	距離 1m	約60%	ほぼ0%
	距離 50cm未満	ほぼ100%	約10% 最大で約30%

**ポイント**

不織布マスクに加え **距離をとることも重要**

## 会話時間が長くなるにつれて感染リスクは高まる

状 況		感染確率（平均）	
		感染者マスクなし 距離 1 m	感染者マスクあり 距離 50cm
感染者と 対面会話	12分	50%強	約5% 約10%
	30分	80%強	
	1時間	ほぼ100%	

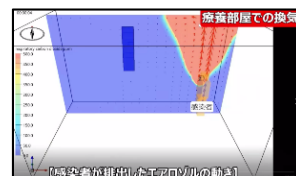
**ポイント**

不織布マスクに加え **会話時間を短くすることも重要**

## 不織布マスクで飛沫量が低減されるが、エアロゾルは隙間から侵入

- 不織布マスクを着用することで上気道に入る **飛沫量は1/3に**
- ただし、エアロゾル（微粒子）は、**マスクと顔の隙間から侵入**

効果的な換気方法を検証  
クリックすると掲載ページに🔗



**ポイント**

不織布マスクに加え **換気も重要**